

山梨県道志村 道志村子ども農山漁村地域協議会

<http://doshi-kanko.com>

問合せ先

窓口名：道志村観光協会
住所：山梨県道志村 6894-4
TEL：0554-52-1414 FAX：0554-52-2683
E-mail：info@doshi-kanko.com

アクセス

最寄りの都市：都留市、相模原市、御殿場市
集合場所：道志水源の森
車の場合：40分、50分、50分
鉄道の場合：—



受入概要

道志村は、昭和 42 年に学校向けの「夏季学生村」（当時は高校生対象）を開村し学生の受け入れを実施してきた。当時は農家や林業家が受け入れに関わり、その中から民宿業を営む農林業家が現れ、地域独特の親しみや優しさ、厳しさを感じさせる家族のような暖かい宿として現在にいたる。また、総合的な学習に伴い平成 13 年度から小中学校自然体験学習の受け入れを開始し、平成 19 年度では宿泊型の受け入れを実施し、道志村の豊かな自然を活かし各教科の学習や総合的な学習と関連させて展開している。生活面では、少人数での分宿（民宿）が主で各宿舎の方々と家族のように接し、民宿の手伝いをしながら道志村の生活を体験する。また各種体験では、自然環境を支えてきた「水源の森と共に暮らす人々」や村の文化・歴史・伝統などを交えたさまざまな計画を進め、学びのプロセスを重視したきめ細かな体験型教育を推進している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

道志村は山梨県の東南端、神奈川県との県境に位置し、北は御正体山を始めとした山々を隔てて都留市、上野原市と、西は山伏峠を画して山中湖村と、南は大室山を境として神奈川県山北町と、東は、神奈川県相模原市と隣接しており、東西 28 キロメートル南北 4 キロメートルという細長い形をしている。その中央を清流「道志川」が流れ、まるで葉脈のようないくつもの沢が注ぎ込み、四季を通してそのさわやかな流れは変わらない。

広い山林と清らかな溪流に育まれた道志村は、野生動物の宝庫ともいえ、カモシカ・ウサギ・ムササビなどの動物、ブナなどの天然林やヤマユリなどの季節の草花・キノコや山菜、ヤマメ・イワナなどの川魚、また、数万年前は海の底だったことを教えてくれる海底生物の化石との出会いもある、自然が豊かに残る村である。

歴史・文化的な特色

道志村は伝統と歴史の宝庫であり、「的様」にまつわる源頼朝公が武道の訓練をした言い伝えや、あちらこちらに残る道祖神や庚申塔、東富士七里太鼓・獅子舞などの民俗芸能など、そしてホタル籠づくり・竹細工・わら草履づくり・昔ながらの生活文化も今の道志村に生きている。豊かに息づく伝統文化は、遠い祖先の暮らしを偲ばせてくれる。

農林水産業の特色

【農業】休耕田を利用したクレソン栽培が盛んであり日本一の出荷量を誇っている。また、米・小麦などの田畑は小規模栽培であり、体験では、各宿舎の田畑を利用して実施している。

【林業】昔は炭焼きが盛んであったが戦後の拡大造林で人工林（スギ・ヒノキ）の植林が行われてきた。林業体験では、10～20年生のスギ・ヒノキの間伐や枝打ち作業を実施している。



さか饅頭づくりをみんなで体験

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	公的宿泊施設	民間宿泊施設
軒数	14	15	2
最大宿泊可能人数	250	200	50
料金	5500～6500 円	3000 円～	5000-6500 円

おすすめ体験学習プログラム

森林と水のつながり（所要時間 180 分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

道志村林間広場上の森林で、林業技術（間伐や枝払い）や地域文化の伝承と共に森林の作用（水源涵養など）を学び、生活に欠かせない「水」について考える機会を持つ。

田植え体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 5 月下旬まで

【内容】

裸足で田に入り体で春の温もりを感じ清流の冷たさを感じる、昔ながらの手作業による田植え体験。また、地域の文化・伝統・歴史にも触れ、自然の大切さを考える。豊かな自然が育んだ清流の水で育つお米は育ちも味も良いと言われている。

「ほうとう」を作る食べる（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

「ほうとう」を粉からねって作る。素材は道志村産の小麦粉と湧水に、野菜などの具を加え、ほうとう鍋にして食す。作って食べることで地域の食について考えてもらう。また、「ほうとう」料理の言われ、米が貴重品であった頃の山里道志村の食事の話やその他芋など具材に関わる話などを聞くことができる。

森林散策・ガイド（所要時間 150 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

地域独自で呼ばれている植物の名称や食べられる植物や生活に利用してきた植物など季節に応じた自然を観察・解説し、普段何気なく見ている自然の面白さを再認識する。

「こんにやく」を作る食べる（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

「こんにやく」を畑から収穫し粉からねって作る。素材は道志村産のコンニャク玉と湧水。作って食べることで地域の食について考えてもらう。食育（地産地消・栄養のバランスなど）としてもアレンジできる。

道志の「さか饅頭」作る食べる（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

祝い事やお祭りなどのときに、このあたりの山間地で作られてきたお饅頭をアンと生地を最初から作る。素材は可能な限り道志村産の食材と湧水。作って食べることで地域の食文化について考えてもらう。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	「水源の森と共に暮す」 水源の村の暮らし～林業偏～	実施時期	5 月上旬 ～ 7 月上旬まで 9 月上旬 ～ 10 月下旬まで
ねらい	水源の森の自然の姿、そこが同時に暮らしや産業の場でもあることを総合的に学び、地域の人が持っている、知恵や知識をかりて体験的に学ぶ。 地域の自然、暮らし、産業の在り方について気づき、村民の自然環境と調和して暮らす姿にふれ、人として生きる力を身につける。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	道志村到着	資料を元にチーム別に道志村調べを行う。
	午後	村内散策 「やってみよう！ご飯炊き」	村の中を散策、水源の村の自然と歴史の夜話し。
2 日目	宿泊	民宿（分宿 10～20 人）	ご飯づくり手伝い
	午前	「川で遊ぼう」	安全に遊ぶ方法を学ぶ
	午後	「川遊びの達人になる」「やってみよう！ご飯炊き」	カジリ遊びの達人になろう、取った魚は焚き火で焼いて食す
	宿泊	民宿（分宿 10～20 人）	ご飯づくり手伝い
3 日目	午前	川を遡って最初の一滴を探せ！	沢沿いに歩いてみる、岩壁の地質調べ
	午後	川を遡って最初の一滴を探せ！「自分達で炊事」	水源調べ、活動を振り返り沢マップを作り、滝や淵の名前をつける。
4 日目	宿泊	民宿（分宿 10～20 人）	ご飯づくり手伝い
	午前	グループワーク「水源の森の物語」	最初の一滴発見の経験を振り返り森と川の間を調べる。
	午後	里山の散策と山仕事見学「自分達で炊事」	森を観察、森と湧き水の話聞く。林業の仕事の様子を実際に見学する
	宿泊	民宿（分宿 10～20 人）	ご飯づくり手伝い
5 日目	午前	「さよならパーティー」	パーティーで 7 日間を振り返る
	午後	解散・バスにて移動	

長野県長野市 長野市子ども夢学校受入れ協議会

<http://www.nagano-agri.org/>

問合せ先

窓口名：(社) 長野市農業公社
住所：長野県長野市岡田町 131-14JA ながの会館 3 階
TEL：026-227-1650 FAX：026-227-1670
E-mail：info@nagano-agri.org

アクセス

最寄りの都市：長野市
集合場所：長野市大岡支所駐車場
車の場合：60 分
鉄道の場合：60 分



受入概要

現在、小学生の受入れは、大岡地域での民泊と施設泊のみであるが、他では中学生の学習体験旅行の民泊の受入実績がある鬼無里地区や、様々な体験メニューを揃えた旅館・民宿・ペンションなど多様な宿泊施設や各種の体験施設があり、民泊への対応も準備している戸隠地域、農作業体験の受入の実績があり、民泊に今後取り組む信里地域など、学校の様々な要望に対応できる地域が広がっている。

農家泊では、受け入れる農家ごとに、その時期にできる農作業と田舎の日常生活が体験でき、食事は子どもたちと一緒に共同調理で、収穫した野菜や山菜等を使った料理や郷土食のおやきづくりなどの体験ができる。夕食後は地域に伝わる伝説や農業の話など聞くことができる。また、4 か所のキャンプ場での宿泊も可能であり、更に冬季においてはスキー場やスケート場もオープンしている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

長野県の北部に位置し、県庁所在地で中核市であり、気候は、日本海海岸方で内陸盆地という地理的条件により、年平均気温が約 12℃。夏の日中気温は 30℃を超えるが朝夕は涼しく、真夏でも過ごしやすい気候。

戸隠地区は、野鳥の宝庫である戸隠森林植物園・森林学習館、戸隠神社奥社、戸隠連峰を映す鏡池などがある。飯綱高原では、飯縄山や大座法師池、大谷湿原などがあり、湿原では可憐な花を見ることができる。鬼無里地区は、裾花川の源流域に広がるブナの原生林奥裾花自然園があり、81 万本の水芭蕉の大群生がある。大岡地区は聖山とそのふもとに広がる台地で、アルプス展望公園では北は白馬岳、南は常念岳までの雄大な北アルプスを展望できる。地区には百選に選ばれた棚田が点在し、美しい山村風景が広がっている。篠ノ井信里地区は茶臼山の丘陵地帯となっており、ため池が数多く点在し貴重な生物がため池に生息している。



地域に点在する棚田

歴史・文化的な特色

善光寺の門前町として栄え、善光寺本堂は国宝に指定され、約 1400 年の歴史を経て今日に至っている。

松代は、真田十万石の城下町で、松代城址を中心に松代藩当時をしのばせる古色漂う町並みに重要文化財・国指定史跡が点在している。戸隠は、山岳信仰の霊場として千年の歴史を刻んだ地域で、天の岩戸神話の舞台として語り継がれた戸隠山と戸隠神社がある。鬼無里・戸隠地区は、謡曲紅葉狩に謡われた鬼女紅葉の伝説や、ゆかりの場があり、紅葉の墓や、平安時代の信濃遷都計画の遺跡や地名が残っている。白髭神社は国の重要文化財にも指定されている。大岡地区は、県指定無形文化財の芦ノ尻道祖神があり、毎年正月の 7 日に地域の人々が松飾を持ち寄って巨大な人面の道祖神を作っている。

農林水産業の特色

野盆地周辺の扇状地と千曲川の自然堤防に栽培されるりんごは各消費地での評価も高く、長野市で最も生産額の高い作物である。更に川中島平では評価の高い川中島白桃が栽培され、ほかにも様々な果物を栽培している。以前は二毛作地帯で小麦を栽培されていたため、小麦粉を日常的に食べており、「おやき」や、「すいとん（だんご汁）」、薄焼きなど「粉物」文化があり、全国でも一世帯あたりの小麦粉購入費が最も高い都市となっている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設
軒数	335	1
最大宿泊可能人数	950	200
料金	6800～7500 円	4515 円～

おすすめ体験学習プログラム

聖山登山、聖山散策（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～6月中旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

聖山山頂を目指し、「ゆったりと自然にふれあい、自然のすばらしさを発見する」オリエンテーリングを実施し、散策をしながら歩く登山。

クラフト体験（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

5月中旬～6月下旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

白樺を使い、丸太を切り、コースター・看板・表札・アクセサリーづくりなどのクラフト体験。樹木等の特性、地域森林の状況・歴史の説明。

岩魚のつかみどり体験（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

ひじり親水公園内において、沢の清流を塞ぎ止め小池が3～4ヶ所作られ、その池内においての岩魚つかみどり体験。沢の清流を使ったイベント(岩魚のつかみどり)は地域最大の行事ひじり三千石祭りの一番人気イベントである。

伝統芸能体験（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

芦ノ尻道祖神保存会指導による、わらを使用しての伝統芸能体験と芦ノ尻地区道祖神(祭り)の歴史も学ぶ。

和太鼓体験（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

地域文化を代表する芸能である和太鼓の叩き方、ばちの持ち方、構え方などの基本を身につけ曲を演奏する。

郷土料理体験(おやき、そば打ち)（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

地域のそばは、市の奨励作物として推進されており地粉100%の手打ちそばの源として栽培されており、その大岡産の地粉を使用し、そば粉を捏ね、のばし、切る、そば打ち体験をおこなう。



郷土料理体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	大岡・農作業自然体験	実施時期	5月中旬～6月上旬まで 8月中旬～8月下旬まで
ねらい	児童が、地域の様々な特色のある自然や文化などにふれ、農家泊では地域の農作業体験や収穫した野菜などの調理体験などを通じ、異なる世代の人々とのふれあい、他者とのかかわりを学ぶだけでなく、集団活動や規則正しい生活を行う中で、自らが考え、判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	往路(昼食)	アルプス展望公園で昼食をとる
	午後	入村式 郷土料理づくり教室	郷土料理づくり(そば打ち、おやきづくり)体験
	宿泊	公的宿泊施設「聖山パノラマホテル」	郷土づくり体験の手打ちそばとおやきを食べる
2日目	午前	受入れ農家との対面、いなか体験	大岡地区でのいなか体験
	午後	いなか体験	大岡地区でのいなか体験
	宿泊	農林漁家民泊	
3日目	午前	聖山登山、聖山散策	ネイチャーゲームをしながら聖山山頂を目指す
	午後	和太鼓体験	聖大権現清流太鼓保存会の指導による和太鼓体験
	宿泊	聖山パノラマホテル	
4日目	午前	オリエンテーリング(岩魚のつかみどり体験)	親水公園にて岩魚のつかみどり体験
	午後	クラフト体験、マレットゴルフ	白樺を使った木工体験 聖山パノラママレットゴルフ場でのマレットゴルフ
	宿泊	聖山パノラマホテル	
5日目	午前	伝統芸能体験	芦ノ尻地区の道祖神保存会指導による、わら細工づくり体験
	午後	離村式	地元農家との別れのあいさつ

長野県飯田市 南信州セカンドスクール協会

<http://www.mis.janis.or.jp/~m-koiki/>

問合せ先

窓口名：南信州広域連合事務局
住所：長野県飯田市追手町追手町 2-678
TEL：0265-53-7100 FAX：0265-53-7155
E-mail：info@mstb.jp

アクセス

最寄りの都市：飯田市
集合場所：飯田市運動公園など
車の場合：—
鉄道の場合：—



受入概要

当地域の体験教育旅行（修学旅行・自然教室等）の受入れは平成8年から行われている。そのコンセプトは、ほんものの体験である。つまり、自然体験・生活体験・交流体験を通じて、単なる技術の体験ではなく、その地域でその仕事を生業とする人々が本気になって接することで、人をよりよく変えていこうとするものである。子どもたちをより良く変えるとは、本当の生きる力を育むことであり、多様な体験活動を通じて子どもたちの心にたくさんの経験という引出しと人と人がつながる力を作りたい。その力は必ず「困難に立ち向かう力」、「困難辛苦とたたかう心」を子どもたちに育むことになる。そのために多彩な農林業体験、自然体験、伝統工芸体験、冒険体験などを準備し、子どもたちの受入れに一生懸命に取り組む地域の人々の存在が重要であるとする。当地域での長期宿泊体験と体験プログラム、緊急救急体制などは既に体験教育旅行の受入れを通じてノウハウを持つ(株)南信州観光公社が学校と連携して全て行っている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

長野県の南部に位置し、静岡県・愛知県と境を接し、面積 1,929 km²のうち、森林面積が約 86%を占める豊かな自然に恵まれた典型的な中山間地域である。域内人口は約 18 万人で、産業構造は電子機械類を中心とする精密電子工業や食品・繊維・水引工芸などの伝統的な地場産業、果物や菌茸、酪農を中心とする農業、そして体験型の観光振興などによる観光業などで構成されている。

天竜川の中流域に位置し、それらに注ぎ込む中央アルプスに源を持つ支流が織りなす風景や日本の原風景ともいえる農村景観が展開する。また、天竜川の浸食作用等による段丘崖を包み込む里山が人々との暮らしの関係を物語っている。さらに、南アルプス全面の伊那山地と後背の南アルプス、里山前面の果樹園など天然の美と人々の日々の暮らし振りが結びついた地域である。

歴史・文化的な特色

南信州地域は、万葉の昔には官道東山道が通り、古くから三河と結ぶ三州街道、浜松へ抜ける遠州街道や信仰の道秋葉街道、伊那谷を貫く伊那街道など交通の要衝であり、都からの文化が流入定着した場所である。原初的な神楽の形態を残す国指定の重要無形文化財の霜月祭り（飯田市）、大鹿村の歌舞伎芝居、淡路の人形師が伝えた人形浄瑠璃などが伝承され、多くの人々の誇りとなっている。また、江戸時代に育まれた伝統的な地場産業である水引細工や養蚕業の振興から生れた飯田紬など、幾つもの伝統文化に彩られている。

農林水産業の特色

1. 南信州地域の農業の概要：地形は山間傾斜地が多く、生活・生産基盤整備等は遅れているものの、標高差、温暖な気候に恵まれて、りんご・なし・干し柿等の果樹園芸や酪農・肉用牛・養豚等が営まれている。南部地域では北限と言われる茶が栽培されているなど、地勢を活用した多様な農業が営まれている。
2. 南信州地域の林業の概要：林業経営者のうち、1ha 以下の林家が半数以上を占める等零細な林家が多くなっている。林業は、森林組合、建設業、林業事業が担っている。雇用対策や技術向上のための研修等を実施し、林業従事者の確保と育成を進めている。根羽杉、遠山杉といった良質の建築材の生産にも努めている。



農業体験

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館	公的宿泊施設
軒数	400	31	3
最大宿泊可能人数	300	5000	300
料金	9000～11000 円	7875～9450 円	1580 円～

おすすめ体験学習プログラム

巨木と語る（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

南信州地域内にある巨木（桜、杉、ミズナラなど）を巡り、自然との結びつきや環境変化を感じる。

動物と森林の被害（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

日本鹿、カモシカ、熊、ニホンザル等の野生動物による森林の樹木の被害の痕跡を見ながら、動物の行動と被害の関係を学ぶ。里山の機能など森の変遷から被害が拡大している側面に気が付く。

ネイチャーゲーム（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～6月上旬まで、8月中旬～8月下旬まで

【内容】

ネイチャーゲームとは米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネルによって発表された自然とのふれあいプログラムで、現在100以上の活動があり、四季折々、山でも公園でも五感で自然を感じることができる。ネイチャーゲームの目的は、自然への気づき。五感で自然を感じ、心と体で直接自然を経験することによって、自然と自分が一体であることに気づくことだ。それは自らの生き方を創造していく入口である。

りんご摘果・袋かけ（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

4月～7月まで

【内容】

南信州は美味しいリンゴのできる南限地。秋にリンゴがなるためにいかに大変な作業があり、それゆえの収穫の喜びがあることを実感する。



りんご摘果・袋かけ

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	南信州体験宿泊体験学習「夏」	実施時期	夏季
ねらい	集団宿泊、里親民泊、自然体験を通して、豊かな心、たくましい体をはぐくみ、人と人との協力の大切さ、また自然のすばらしさ、大切さを学ぶこと。夏という季節の特性を生かす。センター機能があるので、各活動のコーディネート、また支援ボランティアの確保など、体験学習のサポートを綿密に行える。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	移動	水中の生き物や川の様子を観察、野外炊飯は集団で協力し合って調理する。星空観察はインストラクターによる宇宙の話や星座等の解説で学習する。
	午後	川遊び、入所式、野外炊飯、星空観察、登山準備講座	郷土料理づくり(そば打ち、おやきづくり)体験
	宿泊	公的宿泊施設（なみあい遊楽館、テラ自然科学館）	一日のふりかえりを行う。
2日目	午前	登山	地元インストラクターが指導の元、登山を行う。
	午後	登山	キャンプファイヤーではミニゲームやみんなと交流を深める。自然観察を含む。
	宿泊	公的宿泊施設	一日のふりかえりを行う。親への手紙を書く
3日目	午前	退所式、そば打ち体験	そば打ち体験では自分で作ったそばは全部食べてしまうようにする。食べ物大切さを学ぶことになる。
	午後	農家ホームステイ	農作業は普段農家がやっていることを行い、その必要性についても理解する。
	宿泊	農家民泊施設	農家の家族と家で採れた野菜を使った料理を食べ、食べ物への感謝について教える。
4日目	午前	農家ホームステイ	農作業を体験する。
	午後	アウトドアアクティビティ	ラフティング、魚釣り体験など
	宿泊	公的宿泊施設（阿南少年自然の家）	お世話になった農家の方などを呼んで交流会を行う。
5日目	午前	水引体験	水引体験は伝統工芸であり、どうしてその文化が継承されているのか等歴史的な学習としても位置づけることができる。
	午後	移動	地元農家との別れのあいさつ

長野県伊那市 農山村留学長谷地区受入の会

問合せ先

窓口名：伊那市長谷総合支所
住所：長野県伊那市長谷溝口 1394
TEL：0265-98-3130 FAX：0265-98-2029
E-mail：10901@inacity.jp

アクセス

最寄りの都市：伊那市
集合場所：支所駐車場
車の場合：30 分
鉄道の場合：50 分



受入概要

当地域は、雄大な南アルプスの麓に位置し大自然に恵まれているため、その環境を大いに生かして受け入れを行うことが出来る。高原の 22.8 万㎡の広い敷地には、ログキャビンと宿泊施設「雷鳥荘」が整備されており、農山村留学受入のフィールドとして幅広く活用することができる。かつて鹿嶺高原では大学生の合宿の受け入れや「すすくすくスクール」事業と題し数多くの小学生の受け入れを行ってきた。実際の受け入れに携わる人材は、「南アルプス自然体験ネットワーク」のインタープリター（案内人）が担当する。この団体は、長谷総合支所内に事務局を置き、平成 16 年から体験型観光を目指して、登山や農業体験、林業体験、食文化、歴史文化等々地元の観光資源に精通したインタープリター（案内人）を育成し他からの要望に応じて人材を派遣するなど活動が続けている。多くの他地域の子どもたちを受け入れるにあたっては、この地域の特性を生かして、地元の人たちが中心に講師や案内人となり、受け入れた子どもたちが異なる環境や文化の中であっても、この地域でなければ体験（経験）できないことを楽しみながら体験（経験）できるよう配慮している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

南アルプスは、南北 120km、東西 40km の広大な山脈で、3,000m 級の山が 10 峰ある。その南アルプスの北西の玄関口に位置するのが伊那市長谷地区である。三峰川の上・中流域を占める南北に長い峡谷にひらけた景勝地で、南アルプス国立公園と三峰川水系県立公園がある。山懐が深く手を伸ばせば届きそうで届かない雄大で豪快なアルプスの自然と、史跡や民話・伝説が物語るように悠久の歴史の中で育まれた人情あふれる風土が、この長谷地域の魅力である。



雄大な景色

歴史・文化的な特色

当地区には、区に重要な文化財である熱田神社、伊那市無形文化財である中尾歌舞伎、民話は戦前の修身教科書にも載っている孝行猿の碑をはじめ、民謡「ざんざ節」「きんにょんによ」、宇津木薬師如来、検校塚・宗良親王の墓、八人塚、平家落人の里などがある。

農林水産業の特色

○農業

自然豊かな当地域では、農作物はもちろん花栽培も盛んであり、田植え・稲刈り体験、野菜や果物、花等の収穫体験などあらゆる農業体験が年間を通じて行うことが出来る。

○林業

長谷地区面積の 96%を占める森林は約 31,000ha にも及び、林業は大変盛んである。地元森林組合の人たちを中心に、林業体験活動を行っている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	民間宿泊施設	公的宿泊施設
軒数	10	2	1
最大宿泊可能人数	70	175	180
料金	3500 円～	6000 円～	6000 円～

おすすめ体験学習プログラム

枝打ち体験（所要時間 60 分・林業体験）

【期間】

5 月中旬 ～ 9 月下旬まで

【内容】

林業が私たちの生活にどのように役立っているか把握し、鹿嶺高原にてナタノコを使った枝打ち、枝打ちした木を使ったコースター作りを体験する。

古道・秋葉街道散策

（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

通年

【内容】

秋葉街道沿いの町並みや石仏を見ながら散策することにより、現在の歩道から見る景色とは違った角度から地域を見ることが出来る

星空観察会（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

6 月中旬 ～ 9 月下旬まで

【内容】

澄んだ空気と展望がきく鹿嶺高原で見る星空は、日本一とも言われ、その星空のきれいな鹿嶺高原で星座を観察する

味噌玉づくり体験（所要時間 240 分・食の体験）

【期間】

12 月上旬 ～ 2 月上旬まで

【内容】

味噌の作り方、その他の農産物の加工方法（豆腐、漬物等）を指導してもらい、大豆から味噌玉をつくる体験をする



枝打ち体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	夏の農山村留学	実施時期	7 月下旬 ～ 9 月上旬まで
ねらい	夏の農山村地域の各体験活動の中で探究心を養い、また多くの人たちと触れ合い生活する中で、協力する心、感謝する心、自立心を養い社会性を身につける。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	入村式	地域の人たちとの対面
	午後	鹿嶺高原ハイキング・星空観察	鹿嶺高原遊歩道をハイキング、夜は星空観察
	宿泊	鹿嶺高原・雷鳥荘、キャビン、キャンプサイト	
2 日目	午前	林業体験	枝打ち・コースター作り体験
	午後	美和ダム探検	美和ダムの提内を探検
	宿泊	伊那市観光株式会社「入野谷」	
3 日目	午前	川遊び	E ボートを体験する
	午後	川遊び、民話を聞く会	川遊び（川流れ、ストーンアート、ペットボトルでいかだ作り等）を楽しむ。夜は地元の民話を聞く
	宿泊	伊那市観光株式会社「入野谷」	
4 日目	午前	マレットゴルフ	マレットゴルフを体験
	午後	アウトドアアクティビティ	地元の自然豊かな土地を散策しながら、出会った人たちから話を聞いたり、熱田神社や中央構造線公園、鹿公園等の場所を回って歴史や文化に触れる
	宿泊	農家民宿・ホームステイ先	
5 日目	午前	農業体験	イモ堀りや野菜の収穫を体験
	午後	閉村式	地域の人たち、受入農家の人たちに別れの挨拶

長野県駒ヶ根市 駒ヶ根市ふるさと子ども交流推進協議会

<http://www.city.komagane.nagano.jp/>

問合せ先

窓口名：駒ヶ根市役所産業振興部農林課
住所：長野県駒ヶ根市赤須町 20-1
TEL：0265-83-2111 FAX：0265-83-1278
E-mail：k.08035@city.komagane.nagano.jp

アクセス

最寄りの都市：松本市
集合場所：駒ヶ根ふるさとの家
車の場合：90 分
鉄道の場合：110 分



受入概要

駒ヶ根市のグリーン・ツーリズムの核となる農林業宿泊体験施設駒ヶ根ふるさとの家を中心として、長野県の里山での様々な体験を都市の子ども達に体験をしていただくことができる。各種体験講師については、地域の専門家をお願いしており、一般的ではない地域独自の体験ができる。2 年前より、千葉市の山村留学を受け入れており実績がある。平成 18 年度から駒ヶ根市営農センターが、駒ヶ根市が体験の窓口として、農業体験宿泊におけるホームステイにおける農家と学校及び宿泊施設との調整を中心として、各種農山村体験の企画・連絡調整業務を行ってきたものを、平成 21 年度より当協議会が引き継ぎ事業を進めている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

駒ヶ根市は、長野県南部に位置している。中央自動車道を介してのアクセスは首都圏より 3 時間 30 分、中京圏より 2 時間 30 分という比較的恵まれた立地条件を呈している。3,000m 級の山々が連なる中央アルプス、南アルプスに囲まれた、中央に天竜川が流れる「アルプスがふたつ映えるまち」であり、きれいな空気、清らかな水に恵まれた自然豊かな伊那谷の中核都市である。

歴史・文化的な特色

ヤマトタケル伝説が残る大御食神社、早太郎伝説が残る光前寺をはじめとして古くからの歴史に恵まれている。

農林水産業の特色

水稻が中心となる作目であるが、りんごを中心とした果樹経営と、花づくり農家が多く存在している。そ菜の生産は規模は小さいが多品目を取り扱っており、根菜・葉物など、ほとんどの種類を生産している。



大自然の中での体験



わら細工体験

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設	公設の宿泊体験施設
軒数	人数に応じて	1	1
最大宿泊可能人数	60	8	66
料金	3000 円～	5900 円～	7900 円～

おすすめ体験学習プログラム

魚つかみ（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

7 月上旬 ～ 8 月下旬まで

【内容】

魚のいる場所、捕まえ方、捌き方、焼き方、食べ方、山里の貴重な蛋白源としての魚の価値を教えていただき、渓流で魚を手づかみで捕まえ、自分で調理して食す。

農作業体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

7 月上旬 ～ 10 月下旬まで

【内容】

農家の一年の営み、農作物の栽培の流れ、農作業のやりかた、安全確保の留意点等の説明をうけ、滞在先の農家で農作業を行い、食料の生産現場を体感する。

地域探検オリエンテーリング

（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

7 月上旬 ～ 10 月下旬まで

【内容】

ふるさとの家を中心に、里山と村落内を、通貨地点毎に設けられた課題を解決しながらオリエンテーリングを行い、通過点ごとに与えられた課題を解決することにより一つ一つ確認しながら、農山村地域を体感することができる。

おやきづくり体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

7 月上旬 ～ 10 月下旬まで

【内容】

伊那谷でのおやきの歴史、お焼きの作り方を地元のお母さんから教わり、班で協力しておやきを作り、みんなで食す。



花巻寿司づくり体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	秋の信州、山里の秋を体験	実施時期	7 月上旬 ～ 8 月上旬まで
ねらい	里山での活動を通じて、自然の中で暮らすことの意味を考える。また、夏の農作業を通じて作物の育成の仕組みと、食糧生産の大変さと喜びを実感する。更に、農家との触れ合いを通じて都会では味わえない田舎の生活のサイクルを体験することにより、社会の多様性を理解する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	学校から駒ヶ根へ移動	
	午後	入村式 シルクミュージアム見学 まゆクラフト体験 竹笛作り体験	地域で盛んであった養蚕の歴史等を学び、まゆクラフトを製作する。また自分自身で竹を切り、穴を開けて竹笛を作成し、実際に演奏してみる。
	宿泊	公的宿泊施設(駒ヶ根ふるさとの家)	駒ヶ根の郷土料理で夕食・集団生活を体験
2 日目	午前	里山登山(高鳥谷山)	インストラクターの案内により里山登山を行い、里山の夏の動植物を観察し、頂上からの雄大な眺めを体感する。
	午後	川遊びと魚つかみ・郷土食体験	山里の恵みの川魚をさばいて焼き、五平餅を作って食べる。
	宿泊	公的宿泊施設(駒ヶ根ふるさとの家)	みんなで作った五平餅と捕まえた魚を加えた田舎の夕食を味わう。
3 日目	午前	各農家へ移動・生活体験	各農家が出迎え・対面式・各農家へ移動
	午後	農作業体験	夏の農作業体験(農家各戸の特色を生かした体験)
	宿泊	農家民泊	農家の人から土地の話など聞き、今日の体験を話し合う。
4 日目	午前	農家の生活体験	農家の家事を通じて農家の生活を実際に体験
	午後	農作業体験	夏の収穫作業体験(農家各戸の特色を生かした体験)
	宿泊	農家民泊	田舎最後の夜を、体験を振り返りながら過ごす
5 日目	午前	ふるさとの家に集合・お別れ会	各農家がふるさとの家まで送り・お別れ会
	午後	学校まで移動	

長野県大町市 北アルプス山麓地域協議会

<http://www.dhk.janis.or.jp>

問合せ先

窓口名：J A 大北

住所：長野県大町市大町光明寺 3091-1

TEL：0261-22-3222 FAX：0261-22-4441

E-mail：kanko@dhk.nn-ja.or.jp

アクセス

最寄りの都市：長野市

集合場所：大町市役所

車の場合：60 分

鉄道の場合：－



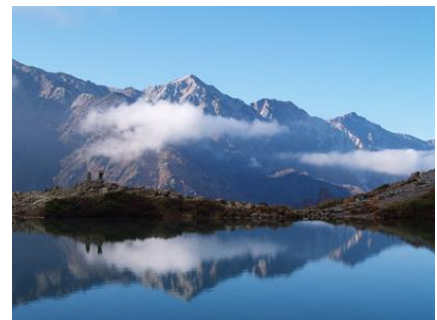
受入概要

現在行なっている山村留学事業や修学旅行・セカンドスクール受入実績や取り組んできた内容を生かして本事業を推進していく。子どもたちには、プログラム化された活動ばかりを与えるのではなく、可能な限り「自分自身で考え、自分自身でやり抜く」という体験を積み重ねられるようにしたいと考えている。そして、自然の中で暮らし遊ぶ楽しさを味わうことと同時に、集団で生活するうえでのルールや規律、基本的な生活習慣の習得等も、大きな課題に据えていく。ただ単に楽しさを追い求めるだけでなく、自然の中で、人が楽しく生き生きと過ごせることを子どもたちに伝えたいと考えている。豊富な森林資源とそこに点在する集落で自然とふれあい、食農教育機会の提供を行う。これは、すべてが整備されている都会の生活に対して、本地域では、食べるために何をするか？生活環境の整備には何をすべきかを指導しながら、山村生活を体験する。

受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

中央部には市街地が形成され、周囲には農耕地が展開し、東西 24 km、南北 59 km、総面積は約 1,100km²で長野県全体の 8.1%を占める広大な地域で、総面積の 85%は山林原野であり森林資源が豊富である。また、河川は、大町市の北部を分水嶺として、姫川が北に流れ、南は槍ヶ岳に源を発する高瀬川に北アルプスを水源とする鹿島川、籠川が合流し南流している。湖沼も青木湖・中綱湖・木崎湖や電源開発によるダム湖もあり、豊かな水資源にも恵まれた地域である。気候は、内陸性気候の特性を示しており、寒暖の差が大きく、北部は 3mに及ぶ豪雪地帯である。



北アルプス

歴史・文化的な特色

当地域は平安時代の中ごろから戦国時代にかけて、約 700 年以上の長期にわたって支配してきた豪族仁科氏によって構築された地域である。この仁科氏は、鎌倉期前期に隆盛を誇り、伊勢や京都の文化の吸収に熱心であったため、由来する優れた文化財・文化施設が数多く残されており、国宝、重要文化財、県宝などに指定されている。例えば、塩の道（千国街道）も文化的資源が多く点在し、歩きながら自然と文化を学べる環境である。農業に従事する世帯も多く、代表的な郷土食にそばとおやきがある。伝統的な年中行事を重んじる土地柄で、四季折々の祭事等が引き継がれおり、神楽や獅子舞等の伝統文化も継承されている。また、民話や口碑伝説も数多くある。

農林水産業の特色

北アルプス地域の農業概要：中南部の平坦農業地帯ではおいしい米作りを中心に認定農業者や集落営農組織を担い手に見据えた水田農業を展開し、周辺部では野菜・果樹・花きなどとの複合的な農業が営まれている。また、北部では集落ぐるみで農地を守りつつ農業生産を続ける活動や農山村の資源を活かした特産物や加工品の生産、棚田の活用や農業体験など都市との交流事業も展開されている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	民農林漁家民宿	民間宿泊施設
軒数	4	2	139
最大宿泊可能人数	30	150	3500
料金	6000～7000 円	7500 円～	9800 円～

おすすめ体験学習プログラム

田植え（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5 月上旬 ～ 6 月上旬まで

【内容】

地元の民宿の方は農業も行っており、稲作等についての指導も行う。



森の秘密基地づくり（所要時間 360 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

何も無い森の中に自分たちが自由に過ごせる基地を作り上げ、自分たちで話し合い、アイデアを出し、設計し、工夫して創り上げる。材料はすべて森の中の木を切って調達し、新しいチャレンジ精神からどんな基地が作れるか期待大である。



和太鼓でストレス発散!!

（所要時間 120 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

5 月上旬 ～ 9 月下旬まで

【内容】

村内には、和太鼓演奏団体が 4 団体あり、それぞれ個性ある和太鼓と演奏方法がある。屋内体育館にて、指導を受けながら思い切り音を出し、曲を演奏する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	春の農業・自然体験	実施時期	5 月上旬 ～ 6 月上旬まで
ねらい	児童が、自然・農林漁業を体感し、いろいろな物事にチャレンジするとともに、農林漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、状況・立場をわきまえ、行動していける“生きる力”を培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	地元の方による稲作の話
	宿泊	農家民宿	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
2 日目	午前	農業体験（田植え）	宿舎裏の田んぼにて、田植えの体験学習
	午後	農業体験（野菜収穫）	宿舎近隣の畑にて、野菜の収穫や種まきの体験学習
	宿泊	農家民宿	夕食後、星座観察
3 日目	午前	魚のつかみどり 飯ごう炊飯 自然体験	河原で魚のつかみどりや淡水魚についての学習など自然での体験学習
	午後	魚のつかみどり 飯ごう炊飯 自然体験	地元食材を使った屋外での昼食づくり
	宿泊	農家民宿	夕食後、生活体験の感想を語り合う
4 日目	午前	トレッキング	自然や地域の歴史や文化にふれながら学習を行う
	午後	ものづくり体験（食）	そば打ち、ジャム作り、こんにやくづくりなど希望する体験メニューを行う
	宿泊	農家民宿	キャンプファイヤー
5 日目	午前	宿泊体験活動のまとめ 閉村式	班別に学習の成果についてとりまとめを行う
	午後	閉村式	

長野県飯山市 北信州みゆき子ども交流推進協議会

<http://www.iiyama-ouendan.net/>

問合せ先

窓口名：(社)信州いいやま観光局
住所：長野県飯山市大字飯山 1110-1
TEL：0269-62-3133 FAX：0269-81-2156
E-mail：info@iiyama-ouendan.net

アクセス

最寄りの都市：長野市
集合場所：飯山市(南側)
車の場合：30分
鉄道の場合：50分



受入概要

コンセプトとして、現在の多くの子ども達に欠けていると言われている、表現力・感情や思いやりの心を、受け入れ側として、人間味をありのままに出すことにより、子ども達の心を揺れ動かし感動を与えられる交流としたいと考え、20年6月に設立、1市3村の広域による地域のコーディネートを担当している。

多種多様なニーズを的確に情報収集し、常に新鮮な情報を提供しつつ、各種体験など、この地域にしかできない心に残る物を研究している。また、専門分野での多くのインストラクターを地元住民に呼びかけ募集を行っており、地域の情報を詳細に伝えることが出来る。今まで、多くの学校を受け入れてきた実績があり、体験メニューも豊富で指導者もベテランが多く、要望に対して柔軟な対応が可能である。また、安全面についても事前調整をしっかりと行っており、安心してご利用いただける体制作りとなっている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

長野市から北へ36km、北信濃あるいは奥信濃ともよばれ、新潟県との県境に位置しており、関田山脈、三国山脈に連なる山々に囲まれ、その中央を日本一の大河千曲川が南から北に流れている。

ブナに象徴される豊かな山林、誌情豊かにゆったり流れる千曲川、四季鮮やかな変化・彩り、古くから湯治場として使われた温泉といった卓越した自然に囲まれ、美しい景観を醸し出している。

歴史・文化的な特色

内山紙・仏壇などといった伝統的工芸品として技術も確実に受け継がれている。また、寺社仏閣など歴史的背景もあり多くの寺社が軒を連ねており、多くの地区が今もなお神楽など伝統的な祭りを開催している。この地区では、自然と人間とのかかわりの中で、築き上げてきた伝統的な文化を色濃く残している。

農林水産業の特色

この受入地区での農業は、米を中心にきのこ・アスパラを栽培している。また、地域全土の約8割を山林が占めており、その山林の間伐等が行われている。漁業は、いわな、にじます、やまめの養殖が行われている。



花が咲き広がる

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設	民間宿泊施設
軒数	10	3	32
最大宿泊可能人数	40	610	1007
料金	一円	6000円～	7000円～

おすすめ体験学習プログラム

木のキーホルダー作り（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

5 月上旬 ～ 11 月上旬まで

【内容】

乾燥木を切断 紙ヤスリで表面研磨 アクリル絵の具で
絵付け 金具の取り付けを実施し、のこぎりの使い方、キ
ーホルダー作りの流れを指導してもらう。

和紙作り（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

こうぞの木から和紙になるまでを指導し、手すき和紙体験、
はがきを数枚作成する。後日そのはがきを自分の家に出し、
思い出をつくる。



和紙作り

ブナ林再生プログラム（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

6 月上旬 ～ 10 月中旬まで

【内容】

以前スキー場や牧場として使用していて現在は使用され
なくなった場所に子どもたちにブナの苗木の植樹をして
もらい、ブナ林の再生を行う。

ブナ原生林散策（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

5 月下旬 ～ 11 月上旬まで

【内容】

多種多様な動植物が生息するブナ原生林内を散策し、春か
ら秋にかけて、季節ごとにさまざまな自然の息吹を体感で
きる

受入時の安全対策

学校関係者向けガ イドライン作成	受入地域内関係者の ガイドライン作成	他安全対策資料用 意
○	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	悠久の郷体験プラン	実施時期	5 月中旬 ～ 11 月下旬まで
ねらい	何百年も変わらぬ悠久の自然を題材とした体験学習を実施する。そして、造られたものでない「本物」を子ども達に体験していただくように、自然体験・農作業体験・郷土食体験、ふるさと体験をバランス良く取り入れ学習を行う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前		
	午後	開村式 班別自由活動	ケヤキの森公園でほたる鑑賞をする。 時期により実施可能。村内各所の田んぼ沿い
	宿泊	ホテル	
2 日目	午前	そば打ち・おやき作り	郷土食のそば、おやきを作り昼食
	午後	つる細工体験 かたらいの時間	地元の熟練した職人の指導による、つる細工体験をする。 小さなかごを作り、作品はお土産にする。
	宿泊	農家民宿	
3 日目	午前	魚つかみ取り体験	赤滝川の自然体系の観察。魚のつかみ取り、バーベキューを実施する。
	午後	外湯めぐり・集印名所めぐり かたらいの時間	入浴を兼ねて、外湯めぐりをする。また、保護者へ宿泊体験の感想を手紙にする。
	宿泊	宿泊施設	
4 日目	午前	農作業体験	地元の語り部の話を聞く。最終日の班別発表の準備を行う。
	午後	アウトドアアクティビティ	地元の自然豊かな土地を散策しながら、出会った人々たちから話を聞いたり、熱田神社や中央構造線公園、鹿公園等の場所を回って歴史や文化に触れる
	宿泊	農家民宿	
5 日目	午前	班別発表 閉村式	班別発表
	午後	解散	

静岡県静岡市 しずおかの恵み体感協議会

<http://www.shizuoka-shimizu.info/>

問合せ先

窓口名：しずおか体験教育旅行
住所：静岡県静岡市清水区三保2 7 3 7
TEL：054-334-7711 FAX：054-334-9769
E-mail：taiken@shizuoka.tnc.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：横浜市
集合場所：清水区三保（東海大学社会教育センター）
車の場合：150 分
鉄道の場合：120 分



受入概要

あくまでも子どもたちが主役であり、ハードスケジュールによって心身共に消耗しないように現地のインストラクターの研修を含めた安全対策をとっている。また、中山間地域においては農村の食生活を体験するそば打ちやワサビ漬け作りなどのほか、主要な産物であるお茶、わさび、果樹等の農作業体験を通じて、食品の安全や重要性を理解していただけるプログラムや、炭酸ガス固定や都市部の水源として多面的な機能を有する森林に親しむことによる環境教育にも寄与できるよう検討している。

受入施設の体験に対する商品プログラム化（料金設定、内容、インストラクター、安全対策、保険等）にも取組んでおり、学校側が安心して体験を実施できるようにすると共に、行程についても、学校側の要望に沿った子どもたちに無理のないスケジュールについて、アドバイスをしている。宿泊施設に関しても、教育旅行料金を設定して長期宿泊にも負担が軽減されるようにした取り組みをしている。もともと宿泊施設の体制が整った地域であったことから、民泊は考えていなかったが、子ども農山漁村交流プロジェクトの推進のため、農林漁家での民泊協力を拡大しているところである。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

静岡市は、北は3,000メートル級の山々が連なる南アルプスを、南は水深2,500メートルの駿河湾を擁している。このように海や山に囲まれた静岡市は自然が豊かであり、さまざまな自然体験ができる条件に恵まれている。また、この豊かな自然と温暖な気候から育まれた産物も豊富であり、この様な自然的資源から「来るものを拒まない」静岡人気質が生まれた。また、市域の77%を森林が占め、3,000m級の山々が連なる南アルプスの赤石山脈までが静岡市であり、希少な動植物の群生地など豊富な自然環境を有する。

歴史・文化的な特色

この地を愛しこの地で亡くなった徳川家康公の墓所は国の重要文化財にも指定されている久能山東照宮（社殿・楼門・神楽等）である。また、清見寺（1300年の歴史をもつ東海の名刹）、臨済寺など家康公ゆかりの寺も多く歴史的価値も高い。

この地域には東海道の宿場が6つ（蒲原宿、由比宿、興津宿、江尻宿、府中宿、丸子宿）もあり、昔の趣を今に残している。登呂遺跡（弥生時代の水田跡）なども弥生時代の文化を知る上で貴重な資源となっている。また山間部には茶園、ワサビ田が広がり、国指定重要無形民俗文化財の有東木の盆踊りや、県指定無形民俗文化財の清沢神楽などが伝承されている。

農林水産業の特色

静岡市の農業は、お茶、ワサビ、柑橘類などに特徴があり、更に地区ごとにナス、ショウガ、トウモロコシなどの特産物がある。お茶については聖一國師が中国からお茶の種を持ち帰って以来800年の栽培の歴史があり、徳川家康公も將軍家御用達のお茶として愛用され、後の徳川將軍にも重用された。茶市場も市内にあり、お茶取り扱い量も日本一である。ワサビは市内の有東木地区がワサビ栽培発祥の地として知られ、ここから全国に栽培が広がっていった。

海産物も豊富であり、そのうちサクラエビは静岡でしか水揚げされず、その漁期も4-6月までと10-11月に限られている。またシラス漁も盛んであり、さらにマグロについても水揚げ量は静岡県が日本一であり、魚介類の豊富な地域でもある。



漁業体験

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	民間宿泊施設	農林漁家民宿
軒数	10	3
最大宿泊可能人数	1486	90
料金	6300 円～	6300 円～

おすすめ体験学習プログラム

お茶作業体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

4 月 ～ 10 月まで

【内容】

お茶農家でのお茶摘みとお茶揉み作業を体験。自分たちで摘んだお茶を製品として仕上げてお土産として自宅に持ち帰ることができる。

竹ごはんづくり（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

山の放竹林の整備をして健全な環境をつくる。伐採した竹を利用して、竹筒ごはんを炊く。また箸や器も竹を使い自分の手で作り利用する。

東海道蒲原宿の歴史探訪（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

東海道「蒲原の宿」の町並みが江戸時代の面影を多く残しており、地元ボランティアによる案内により町並みを巡る。

海のプランクトン採取と観察（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

海のプランクトンを自分たちの手で実際にプランクトンネットを使い採取し、博物館に持ち帰り顕微鏡で観察して学ぶ。



しらすづくり体験



竹ごはんづくり体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	静岡まるごと体験	実施時期	4 月中旬 ～ 10 月下旬まで
ねらい	地元の人達がインストラクターとして子ども達の指導に当たる為、日常の暮らしを体験したり、話を聞いたりすることは活きた学習として役立つ。博物館プログラムも充実しており、組み入れることによって理科や社会の授業に対応ができ授業日数として換算できる。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式と農家の生活体験	挨拶、自己紹介、当該地域に関する情報交換、お茶作業体験（お茶摘みと手もみ作業）
2 日目	宿泊	民間宿泊施設	夕食後 地元の語り部による民話を聞く。
	午前	漁家の生活体験と海岸観察	地引網漁を実際に体験し、採れた魚の話を漁師さんから聞く。取れた魚は調理して夕食に食す。海岸にある漂着物を観察して環境学習をする。
	午後	博物館の体験学習	水族館では駿河湾の魚を主に 350 種 2 万匹飼育しており、海に関する教育体験プログラムを実施する。
	宿泊	民間宿泊施設	夕食後 夜の水族館を見学して魚の生態を学ぶ。
3 日目	午前	マリンスポーツ体験	三保半島の波静かな内海で 2 人乗りのカヌーを体験する。駿河湾での釣り体験
	午後	里山の生活体験	里山が放竹林で荒廃しており、これらを地元 NPO 団体と共に整備のお手伝いを実施する。切り出した竹を細工して器や箸を作り利用する。
	宿泊	農家民宿	夕食後 農家の生活について話を聞く。
4 日目	午前	農家の生活体験	農家の主婦が管理している山村の体験施設にて各種（そば打ち、こんにゃく作り、餅つき等）を体験する。
	午後	農家の生活体験	宿泊する農家の畑で夕食用の各種食材を採取して、夕食調理体験をする。
	宿泊	農家民宿	夕食後 お世話になった人達への手紙を書く。
5 日目	午前	漁家の生活体験	魚市場にて早朝の競り（定置網、シラス漁、桜えび漁）を見学して仕組みを学ぶ。シラスの釜揚げを昔の作業方法でつくり試食する。漁船に乗船して漁場を見学する。
	午後	学校まで移動	お別れ会

静岡県下田市 伊豆下田地区教育旅行協議会

<http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

問合せ先

窓口名：下田市役所（総合窓口）
住所：静岡県下田市東本郷 1-5-18
TEL：0558-22-3913 FAX：0558-22-3910
E-mail：kankou@city.shimoda.shizuoka.jp

アクセス

最寄りの都市：東京
集合場所：須崎：漁民会館 白浜：板戸漁港 外浦：外
浦神社前 田牛：青少年海の家
車の場合：210分 鉄道の場合：150分



受入概要

これまで、地域の資源を活かした体験プログラムや受入体制の整備を行い、中学生の教育旅行を中心に年間約6000名近くの生徒さんを受け入れており、学校側からも高い評価を得ていると確信している。漁船体験や干物作り、磯観察や植物観察会、お寺の住職やボランティアガイドによる歴史の講座やまち歩き、蕎麦打ち体験や里山歩きなど豊富な体験プログラムはもちろんです。下田市ではなにより民宿の人たちとの家族同然のふれあいを大切にしている。この受入は実は意外な効果を見せており、訪れる生徒さんが田舎の生活に感動していただくことはもちろんです。地元のお年寄りにとって、孫のような子どもたちに囲まれて、一緒に生活や作業をしたり、昔の漁村の生活や漁業の歴史などについて語り継ぐ時間を持てたりすることで、新しい生活の張りとなっているという声が多く聞かれる。

下田でしか体験することができない自然、歴史、生活文化、そして人情という本物資源をプログラム化し、子ども達に学び意欲や自立心、思いやりに心、規範意識などを育み、力強い子ども成長を担っていく「体験フールド」を提供し、一人ひとりの「心のふるさとづくり」をお手伝いさせていただく。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

下田市の年間平均気温は17℃と温暖で、降水量も1900mm余りと豊富であり、天城山系から続く急峻な山々と約47kmに及び海岸線は下田市を特徴づける美しい景観を形成している。海岸線には9つの海水浴場が点在し、白砂と青い海が広がり様々なマリンスポーツが楽しめる。海水浴場近辺には磯場も点在し、磯観察等の学習にも適している。前述のような温暖な気候に加えて急峻な地理条件により、亜熱帯系から亜寒帯系までの幅広い植生を有し、四季を通じて多様な草花や果実が生育している。山々や海岸には遊歩道が整備されそれら植物を観察することが出来る。そして、黒潮の流れる太平洋が育む海産物が豊富にあり、また豊富な温泉も湧出しており、非常に多くの自然資源を有している。

歴史・文化的な特色

下田市は古来より東西海上交通の要衝となる港があり、戦国時代末期には豊臣水軍と北条水軍による下田城をめぐる攻防があり、江戸時代には船改め番所と呼ばれる海の関所が置かれ、「出船入船三千艘」と称される程繁栄の時代がありました。幕末にはペリー提督により締結された日米和親条約により下田が開港となり、その後ハリスが総領事として下田に着任し、彼が滞在した玉泉寺は日本初の総領事館となりました。また、ロシアからもブチャーチン提督が来航し、日露和親条約が下田で締結されるなど、諸外国も下田を訪れており、下田は開国の歴史には欠かせない歴史資源が豊富にあります。

農林水産業の特色

下田市の漁業は、変化に富んだ海岸線は約46km。黒潮の恩恵により、魚介類の恵まれた生息地となっており、水揚げ日本一といわれるキンメダイをはじめ、あわび、伊勢えび、さざえ、天草等を特産品として取り扱っており、高齢化等による低迷はあるものの、今でも漁業は主産業のひとつにあげられる。さらに地域振興策として、地場魚介類を使った郷土料理、特産品の開発にも力を入れており、あらたな需要の拡大にも努めている。

また、農林業は、下田の農業は平坦地が少ないことから、集約的な農業が展開されており、わさびなどを栽培している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家以外の民宿
軒数	55
最大宿泊可能人数	1052
料金	6825～7350円

おすすめ体験学習プログラム

海釣り体験（所要時間 120 分・漁業体験）

【期間】

通年

【内容】

地元の両氏の指導のもと、堤防で海釣りを行う。釣った魚は、宿泊する民宿で夕食のおかずとなる。



磯観察体験

磯観察（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

磯を自由に散策し、海の生物採集を行う。潮溜まりの中には驚くほどの生物が住んでおり、指導員による解説もあり、下田地域の生物を学ぶことができる。



海釣り体験

開国のまちあるき（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

下田市街地の旧跡をめぐり、下田の歴史や幕末の歴史などを学ぶ。

サザエキャンドル作り（所要時間 60 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

民宿の人たちと会話をしながら、サザエの貝殻を利用したキャンドルを作成する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	伊豆下田での出会いと感動体験	実施時期	4月上旬～7月まで
ねらい	民宿での生活を通して、日常とは違う文化、風土、生活の営みがあることに気づかせ、社会に対する視野を広げる機会とし、異世代である民宿のおじさん・おばさん達、地域サポーターと体験学習旅行のなかで生活、体験活動をともしすることで、人間同士のつながりのあたたかさ、大切さを感じる機会を提供する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式（全員参加）	下田の特色、歴史、産業、文化等について、子どもたちが事前に調べた内容についての発表会を実施
	宿泊	農林漁家民宿	民宿のおじさん・おばさんとの「ふれあい交流」
2日目	午前	海釣り体験・漁船乗船体験	地元漁師、サポーター指導による海釣り体験、地元漁師及びサポーターの案内による漁船乗船体験
	午後	アジの干物作り・天草からトコロテン作り	地元の魚を使った干物づくり、魚を開いて乾燥させるまでの体験
	宿泊	農林漁家民宿	午前中に釣り上げた魚を夕食で調理
3日目	午前	磯の生き物観察会	シークラフトに使う貝殻・流木拾い。自然保護を育む海辺のゴミ拾い、潮溜まりでの磯の生き物観察
	午後	磯の生き物説明会	拾った貝殻やヒトデ、流木を使った記念品の創作、見つけた生き物の生態や特徴等、実物を使った体験授業
	宿泊	農林漁家民宿	田の海で採取した発光性介形虫「ウミホタル」の観察会
4日目	午前	ハイキング	たくさんの花々、貴重な植物、珍しい地層群等、抜群の景観と豊かな自然に触れ合うハイキング。
	午後	ハイキング	
	宿泊	農林漁家民宿	民宿のおじさん・おばさんと体験学習旅行の感想を語り合う。退村式で渡す御礼の手紙を書く。
5日目	午前	退村式	関係者の挨拶、民宿の人たちへの御礼の挨拶・手紙等
	午後	学校までの移動	

静岡県松崎町 松崎町グリーンツーリズム推進協議会

<http://www.town.matsuzaki.shizuoka.jp/>

問合せ先

窓口名：財団法人 松崎町振興公社
住所：静岡県松崎町宮内 301-1
TEL：0558-42-1881 FAX：0558-42-1950
E-mail：green@izu-matsuzaki.com

アクセス

最寄りの都市：静岡市
集合場所：岩地駐車場
車の場合：170 分
鉄道の場合：170 分



受入概要

子ども達には、日常では経験できない知的・身体的な体験や松崎町の文化や風土を体感していただき、都市生活とは異なる価値基準や都会では味わえない感動を知ることにより、豊かな価値観や判断力が養われ、子ども達の成長が促されるよう、地元住民も一丸となって受け入れに当たっている。松崎町は、海、山、川の恵まれた自然環境や歴史的な建造物であるなまこ壁の建物が残る自然と歴史、文化の薫る町です。町では、これらのフィールドを活用し、カヤック、ブドウ狩り、ポンカン狩り、鮎のつかみどり、漆喰鎧絵・光る泥団子体験などを用意して都市との交流を進めている。

岩地地区は、平成 12 年度より中学校の修学旅行の受け入れを開始し、豊かな自然と心温まる素朴な民宿を舞台に、体験学習の場を提供してきており、これまで 5・6 月を中心に受け入れてきた。過去には年間 1,700 人余り（平成 14 年度）を受け入れた経験もあり、民宿や体験の対応に関するノウハウも豊富である。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

気候は、四季を通じて温暖で、1 年を通じて風も比較的少なく、降雨量も月平均 125 ミリで比較的穏やかな気候を有している。松崎から南に続く海岸線は、富士箱根伊豆国立公園区域や名勝伊豆西南海岸に指定されており、変化に富んだ景観と豊かな自然を有し、温泉も豊富に湧出している。岩地地区は、延長 3 0 0 m の白砂の海岸を有し、透明度も高く、波はいつも穏やかなことから海の体験を行うには絶好の場所となっており、宿泊施設の民宿には、すべて温泉が引かれており、岩地地区から隣接する石部地区、雲見地区（合わせて三浦地区と呼ばれる）をつなぐ三浦歩道が整備されており、石部地区には山ツツジの群生地長者ヶ原へつなぐ遊歩道や復元された棚田もあることから、山や農業の体験が出来るフィールドも整っている。

歴史・文化的な特色

町内には歴史的建築物であるなまこ壁の建物が 2 0 0 棟ほど残り、明治 1 3 年に建築され国の重要文化財に指定されている「岩科学校」や明治時代の呉服商家「明治商家中瀬邸」、「伊豆文邸」なども当時の姿をとどめ、見学施設となっている。また、松崎出身で「左官の神様」と言われた入江長八の漆喰鎧絵の作品を展示する「伊豆の長八美術館」もあり、歴史に触れることができ、これらの入館施設は中学生以下は無料である。

農林水産業の特色

農業は、町内を流れる那賀川、岩科川の沿線に水田地帯が開け、小規模な水稲単作が行われている。石部の復元された棚田では、オーナー制度が導入され、農作業を通じた都市との交流が図られており、特産物には、桜餅などに使われている桜葉があり、全国で約 70% のシェアを占めているほか、天城の清流を活用した山葵の栽培もおこなわれている。

林業は、かつては木炭生産が盛んでしたが、現在ではシタケ栽培などが行われている。

水産業は、定置網や小船による沿岸漁業が行われ、岩地を含む三浦地区では、地引網によるきびなご漁や刺し網による伊勢海老漁も行われている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	公的宿泊施設
軒数	27	1
最大宿泊可能人数	2700	138
料金	7000 円～	8800 円～

おすすめ体験学習プログラム

ラフトボード（所要時間 120 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬まで

【内容】

8人乗りのラフトボードをシングルパドルで力を合わせて漕ぎ、湾内を回遊し、舟の進む原理、取り扱い方法、安全対策、共同作業の重要性を教える。



スポーツ・レジャー体験

地引網（所要時間 90 分・漁業体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬まで

【内容】

地区で昔から行われてきた地引網を体験することにより、漁の大変さや実際に収穫された魚に接することにより達成感を味わうことが出来る。海岸に仕掛けられた地引網を地元の漁師と一緒に引く。採れた魚は民宿の食卓に並ぶ。



地引網漁体験

光る泥団子作り（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

松崎町の伝統工芸である漆喰の基本的技術について学び、椀となる泥団子に漆喰を塗り、表面を磨くことで光る泥団子を作ってみる。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	岩地漁村体験プラン	実施時期	5月上旬～6月下旬まで 9月上旬～10月下旬まで
ねらい	自然環境の中で体を動かし、その素晴らしさを肌で感ずること、自らが考え行動すること、お互いに助け合っ て一つの作業に当たること、地区の人々・大人と交流することなど、子ども達が成長する上で大切なことを様々 な体験メニューを通して学習していく。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	移動	
	午後	開村式・地域学習	「岩地の漁業と暮らし」についてビデオ学習および事前学習に基づく質疑応答
	宿泊	農林漁家民宿	民宿の人、地区の古老との会話
2日目	午前	漁業体験と干物作り体験	児童全員で地引網漁を体験する。そして、民宿に戻り、魚を開くところから干物づくりを体験する。
	午後	食の体験と漁村の生活体験	岩地地区内を散策し、都市と漁村の違いを見つけ、班ごとにテーマを決めてその背景にある風土や歴史を考察しレポートにまとめる
	宿泊	農林漁家民宿	午後の生活体験の内容や感想を語り合う
3日目	午前	海のスポーツ・レジャー体験と食の体験	3グループに分かれカヤック(A)・シュノーケリング(B)・魚釣り(C)のいずれかを体験する
	午後	海のスポーツ・レジャー体験と海のクラフト体験	3グループに分かれ、砂アート(A)、魚採りトラップ(B)、思い出の小瓶作り(C)のいずれかを体験する
	宿泊	農林漁家民宿	本日体験した内容や感想を語り合う
4日目	午前	海のスポーツ・レジャー体験と海のクラフト体験	3グループに分かれ思い出の小瓶作り(A)、砂アート(B)、魚採りトラップ(C)のいずれかを体験する
	午後	食の体験と海のクラフト体験	各民宿でトコロテンを作り、おやつとして味わう
	宿泊	農林漁家民宿	民宿の方々へのお礼の手紙を書く
5日目	午前	清掃活動と退村式	入村式会場で退村式を実施、児童による海にまつわる歌の合唱
	午後	移動	

静岡県森町 森町ツーリズム研究会

<http://www.shizuoka-shimizu.info/>

問合せ先

窓口名：森町体験の里「アクティ森」

住所：静岡県森町問詰 1115-1

TEL：0538-85-0115 FAX：054-334-9769

E-mail：0538-85-0115

アクセス

最寄りの都市：横浜市

集合場所：清水区三保（東海大学社会教育センター）

車の場合：150 分

鉄道の場合：120 分



受入概要

子どもたちに、農林業の体験・農村生活・自然体験活動・食や伝統文化などわかりやすく紹介し、この地域が持つ資源を有効的に活用し、安全かつ有意義な活動に心がけます。また、地元の様々な特技・経験を持つ人材をインストラクターとして養成し、「名人、達人、匠」として認定をし、地元の人達とふれあいや交流メニューを検討し、森町体験の里「アクティ森」を核とし、地域ぐるみでの受入をします。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

三方を山に囲まれ、夏はアユ釣りでにぎわう清流吉川、三倉川が山間を流れ、キャンプなどで多くの人が川と親しむことができます。また支流ではホタルの乱舞を見ることができます。一方、野山を散策したりウォーキングしたり、山菜摘みを体験したりと、豊かな自然に恵まれている。



歴史・文化的な特色

この地を愛しこの地で亡くなった徳川家康公の墓所は国の重要文化財にも指定されている久能山東照宮（社殿・楼門・神楽等）である。また、清見寺（1300年の歴史をもつ東海の名刹）、臨済寺など家康公ゆかりの寺も多く歴史的価値も高い。

この地域には東海道の宿場が6つ（蒲原宿、由比宿、興津宿、江尻宿、府中宿、丸子宿）もあり、昔の趣を今に残している。登呂遺跡（弥生時代の水田跡）なども弥生時代の文化を知る上で貴重な資源となっている。また山間部には茶園、ワサビ田が広がり、国指定重要無形民俗文化財の有東木の盆踊りや、県指定無形民俗文化財の清沢神楽などが伝承されている。

農林水産業の特色

森町は、北部の森林を源とする太田川が町の中央を流れ、南部には肥沃な田園が広がる地形で、気候も年中雪が降らない温暖な地であります。農作物も豊富で、北部中山間地域では、椎茸、竹の子、栗など林産物、南部では米、トウモロコシ、柿、メロンや冬場に栽培されるレタスなど年間を通して農業が盛んな町です。特に、お茶は古くから「遠州森の茶」として有名で、町全域で栽培され、町の農業の基幹作物であり町内の茶商から全国に発送されています。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	公的宿泊施設
軒数	38	8
最大宿泊可能人数	100	80
料金	4000 円～	6600 円～

おすすめ体験学習プログラム

お茶作業体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5月中旬 ～ 6月上旬、6月中旬 ～ 6月下旬、
9月中旬 ～ 9月下旬まで

【内容】

手摘みや機械によるお茶刈りの体験。摘んだ茶葉で簡単なお茶作り体験。お茶製造工場見学。これらを通じて、お茶づくりの、昔と現在の栽培方法、適採方法の違いとお茶の効能、



お茶摘み作業体験

ホタル観察体験（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬 ～ 6月上旬まで

【内容】

きれいな水が流れる小川に、春になると蛍の乱舞が見られ、地元の人の案内で蛍の観察体験を行う。

椎茸の菌打ち、椎茸狩り（所要時間 240 分・林業体験）

【期間】

2月中旬 ～ 3月下旬まで

【内容】

椎茸の原木に椎茸菌を打ち込む体験、収穫時期に椎茸狩り体験を行い、原木・しいたけの種類、栽培方法などを学ぶ。

陶芸体験（所要時間 60 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

専門のインストラクターから指導を受け、地元の伝統工芸を体験する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	お茶のすべてを体験	実施時期
ねらい	当地区の各農家で生産する作物を農家の指導のもとに収穫や施肥、除草などを中心とした農業体験をしてもらい、農業の大変さ、大切さを学んでもらう。	5月中旬 ～ 6月上旬まで 6月中旬 ～ 6月下旬まで 9月中旬 ～ 9月下旬まで

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	お茶についての説明	受入農家との対面、オリエンテーション
	午後	茶園見学と管理	茶園見学、茶園で施肥や管理体験
	宿泊	コテージ・アクティ、農家へ民泊	夕食後 地元の語り部による民話を聞く。
2 日目	午前	お茶摘み体験今昔	茶摘み籠による手摘みから最新の機械によるお茶刈り体験
	午後	手揉み体験とお茶の手作り体験 星空観察会	インストラクターによる手揉み体験と家庭にあるホットプレートでお茶づくり、夜、池谷薫さんの説明で、星空の観察会
	宿泊	コテージ・アクティ、農家へ民泊	
3 日目	午前	お茶の効能と美味しいお茶の飲み方	日本茶インストラクターによる効能と入れ方教室
	午後	闘茶会	お茶を飲んで品質や種類を当てる体験
	宿泊	コテージ・アクティ、農家へ民泊	
4 日目	午前	山野ウォーキングと文化財巡り	地元の人の案内で自然な野山を散策し、ちいきの文化財を巡る
	午後	山野ウォーキングと山菜摘み体験	地元の人の案内で自然な野山を散策し、季節の山菜摘みを体験
	宿泊	コテージ・アクティ、農家へ民泊	
5 日目	午前	お茶の草木染・紙すき・湯飲み陶器づくり	アクティ森でお茶を使った伝統文化の体験
	午後	(終了)	お別れ会

静岡県西伊豆町 伊豆いきいき漁村活性化協議会

<http://www.izu-gyoson.com/>

問合せ先

窓口名：西伊豆いきいき漁村活性化協議会
住所：静岡県西伊豆町仁科 2097-1 堂ヶ島ピアドーム天窓内
TEL：0558-52-1119 FAX：0558-52-2520
E-mail：info@izu-gyoson.com

アクセス

最寄りの都市：東京、名古屋
集合場所：JR 三島駅北口（新幹線改札側）
車の場合：90 分、180 分
鉄道の場合：60 分、110 分



受入概要

伊豆半島に訪れる子プロ受入組織として、子どもたちに地域に根ざした総合的な体験学習プログラムを提供する。突出すべき特徴としては、一市町村の滞在型のみならず、伊豆半島全域に渡るプログラムの提案が可能であることが挙げられる。手配事項は体験プログラム、交通、飲食、民間宿泊施設（静岡県では民泊が認められていないため当面は民間宿泊施設）。

安全対策を最重要事項に「安心・安全・感動の提供」を基本方針として掲げ、子ども達には第二の故郷と感じて頂けるようなホスピタリティの提供に努める。

子どもたちの安全面を第一に考え、指導に当たるインストラクターは協議会で開催するインストラクター研修を受講した認定者のみとする協議会として受入窓口を一本化し、申込、問合せ、受入、清算までをトータル受注可能である。また、指導者及びインストラクターは地元在住の「達人、名人」があたる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

伊豆半島は海岸と天城山が富士箱根伊豆国立公園に指定されており、日本を代表する温泉地帯でもある。半島の東側は相模湾、西側には駿河湾、南側は太平洋を臨み全域に渡り山地が大部分を占めている。

伊豆半島は東伊豆、中伊豆、南伊豆、西伊豆と 4 つのエリアから形成されており、気象の特性も異なっている。沿岸地方では、年間平均気温が 15～17℃と温暖な一方、内陸の中伊豆では日中と夜の気温差が大きく冬季には山間部にて積雪もある。首都圏から近距離で自然環境が整ったエリアである。

歴史・文化的な特色

古来から歴史的文化財が数多く残された伊豆。文化人の足跡も数多く、文豪や画家、俳人など文化的資源に富む。また縄文時代からの遺跡や鎌倉幕府を開く源頼朝、豊臣水軍と北条水軍との戦いの歴史、幕末期の科学技術の粋を集めた反射炉、ハリスによる開国の下田など。航路によって東西交流の地となった松崎町ではなまこ壁やこて絵などが残されている。江戸城築城の際の石切り場跡、漁業ではカツオ漁、イルカ漁など伊豆独特の漁法も伝わる。伊豆独特の方言など、文化的資源には事欠かない。（著名な文豪との所縁（川端康成、井上靖、太宰治等）、伊豆の踊り子の舞台となった「旧天城トンネル」、源氏との所縁がある修禅寺、松崎町のなまこ壁、幕末に造られた大砲鋳造所「韮山反射炉」等）

農林水産業の特色

伊豆半島は海、山、田、畑と全てがそろい、また相互の距離も近く他地区には無いバランスのよい産業文化が整っている。主な農産物としては甘夏みかん、温州みかん、野菜、桜葉などがある。特に松崎町の桜葉は日本一の生産量を誇る。他には、山葵、椎茸、白枇杷なども生産されている。

駿河湾、相模湾に囲まれている伊豆では漁業が盛んであり、海産物はイセエビ、アワビ、サザエ、金目鯛などが有名。一本釣漁法から刺し網漁、潜水漁など漁法も各地により違いがあり、年間を通して季節の魚が水揚げされる。また、駿河湾は水深が深く高足ガニや深海魚料理も味わうことができる。加工品では、塩鯉（正月魚）が西伊豆の郷土料理として食べられる。心太、鯉の塩辛、鯉節は現在も昔ならではの工法で作られている。マンボウ、イルカを食べる慣習があるのも伊豆ならではの磯では 1 月末からの岩海苔かき、3 月からヒジキ漁、5 月からの天草漁など季節に応じた漁業風習も残る

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	公的宿泊施設	民間宿泊施設
軒数	20	20	1	3
最大宿泊可能人数	100	100	120	254
料金	4000 円～	7000 円～	7800 円～	8550 円～

おすすめ体験学習プログラム

自分だけの水族館（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

潮間帯、潮だまり（タイドプール）の生きものを一時的に採取して水槽に入れ観察する。生物の多様性に触れ、様々な形態と、それに関連した食性や生態系等を知る

海の中をのぞいちゃお

（所要時間 120 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

通年

【内容】

マスク、スノーケル、フィンの使い方に慣れた後、水中技術の練習と同時に、水中世界との出会いを楽しむ。多くの魚や熱帯魚、無脊椎動物に出会うことができ、手軽でありながら非常に印象の強い自然体験ができる。

農家さんに弟子入りだ！（所要時間 240 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

一年中、季節に応じた農業体験を開催する。有機農法の田畑でとれる米や野菜。田起こしから田植え、稲刈り、アイガモ農法での稲作。ジャガイモやスイカ、トマトなどまで農家から直接学べる

地産地消！野菜嫌い卒業だあ

（所要時間 150 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

無農薬地場産野菜や平飼いで育てた鶏肉を使って本当の味覚体験。プロのシェフが簡単にできる料理を教えてくれる。トマトやピーマン嫌いでも本来の味を知れば、きっと好きになる

染物職人への道！（所要時間 90 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

染料の草木を達人と探しに出かける。真っ白だったシャツがオリジナルシャツに変身。はじめと色が変わっていくのが驚き。こんな草でこんな色になるのか。絞ったり輪ゴムでとめたりして模様もつけてみる

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	海あそび楽校	実施時期	6月中旬～9月中旬まで
ねらい	特色ある漁師町、西伊豆での漁家民宿での家族的な生活体験や、地域住民の漁業への係わり方、実体験として透き通る海でのスノーケリングなどの様々な本物体験をした児童が、自分たちの生活との違いを把握することで第一次産業の状況を理解することを狙いとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	西伊豆町まで移動	
	午後	入海式	海辺ウォーキングをしながら、貝殻を耳にあてて聞こえる音あそびやスケッチをしながら、海でゆっくりと過ごす
2日目	宿泊	堂ヶ島海辺の隠れ湯清流	露天風呂掃除や布団敷きなど旅館業の手伝いをする
	午前	海あそび楽校（1）[海の水族館づくり]	自然遊びの達人と一緒に、磯場の生き物を一時的に採取し、水槽を利用した水族館を作り観察する。観察後、海へ戻す
	午後	海あそび楽校（2）[海の生きものになろう]	自然遊びの達人と、スノーケリングの事前活動として視覚教材とワークシートを使って知識をつける
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後に民宿の方から民話を聴く
3日目	午前	海あそび楽校（3）[魚市場見学と干物づくり]	魚市場を見学し、干物づくりの達人から魚のさばき方や、塩の振り方を教えてもらい、自分たちで干物を作ってみる。
	午後	海あそび楽校（4）[海の中をのぞこう]	自然遊びの達人と一緒に海に慣れることを目的にし、マスクだけをつけて海中を覗いてみる
	宿泊	農林漁家民宿	夕食後に民宿の方からイルカ漁の話聴く
4日目	午前	海あそび楽校（5）[漁師さんの生活を知ろう]	現役の漁師さんから漁具の手入れや網の補修作業など、教わりながら手伝いお話を聞く
	午後	海あそび楽校（6）[魚とお友達になろう]	自然遊びの達人と一緒にスノーケルとフィンをつけて磯場まで泳ぎ、海中生物を観察する。流れのない場所でゆっくりと観察をおこなう
	宿泊	堂ヶ島海辺の隠れ湯清流	全員でお別れ夕食と夕食後午前の体験のシェアリングを行う
5日目	午前	海あそび楽校（7）[海をきれいにしよう] 海あそび楽校（8）[海からの手紙を書こう]	楽しく遊んだビーチでゴミ拾いを行い、ごみの中から記念品を探す。お世話になった民宿やインストラクター、達人たちへお礼の手紙を書く。最後に児童全員でシェアリングをする。
	午後	離海式	インストラクター、受入施設関係者とのお別れ式